

「福岡の巨匠を訪ねる！」

Guided Tour

福岡市は、2009年、市制120周年を迎えました。その間、この福岡市には「巨匠」と呼ばれる建築家や造園家・都市計画家が、福岡の財産ともいえるすばらしい建築物や空間をつくっています。それらの環境は、往時の社会背景を反映しているだけでなく、その環境を通して「巨匠」と呼ばれる人々が「いかに時代をつくらうとしたか」ということを今に伝えるものだと言えます。

今回、これらの場を訪れ、講師の方のお話から、当時の社会背景と「巨匠」の感性・人生を踏まえ、「私たちのまちがどのようにしてつくられたのか」を学び、現在のわたしたち自身の環境デザインの考え方を見つめ直してみたいと思います。

2009年11月14日(土)

【時間】 9:30～17:30

【集合】 博多ポートタワー 徒歩・バスで移動

【参加費】 会員・学生：無料、一般：¥500(資料代)

※定員：30名限定

【参加申し込み・お問い合わせ】

JUDI九州ブロック事務局

(株)環境デザイン機構 福田まで

TEL:092(553)0560 FAX:092(553)0561

e-mail:judi-q@or.tv

※申込みいただいた方に詳細なスケジュールをお送りします。

【講師】

- ・福岡市赤煉瓦文化館：福原正夫氏(福岡市役所)
- ・大濠公園：新田裕司氏((株)アービカルネット)
- ・博多ポートタワー：市原猛志氏(NPO法人北九州COSMOSクラブ)
- ・福岡市美術館：顕原澄子氏(九州産業大学)

※交通費、昼食等は参加者でご負担ください。

※ツアーにはシティループバス「ぐりーん」を利用すると便利です。福岡都心エリアが1日乗り降り自由の「ぐりーんパス(¥700)」を購入ください。



1909年(明治42年)

福岡市赤煉瓦文化館 (旧日本生命九州支店)

辰野 金吾
Kingo Tatsuno

東京駅、日本銀行本店等の設計を手がけ、日本の「近代建築の父」と称される。



1924年(大正13年)

大濠公園

本多 静六
Sei roku Honda

日比谷公園の設計や国立公園、鉄道防雪林の確立に努め、日本の「公園の父」と称される。



1964(昭和39)年

博多ポートタワー

内藤 多仲
Tatyu Naitou

東京タワー、名古屋テレビ塔、大阪通天閣等の設計を手がけ、「塔博士・耐震構造の父」と称される。



1979(昭和54)年

福岡市美術館

前川 國男
Kunio Maekawa

ル・コルビュジェ等の元で学び、国立国会図書館などを手がけたモダニズム建築の旗手。



1990(平成2年)

シーサイドももち

水谷 穎介
Eisuke Mizutani

神戸、ポートアイランド六甲アイランド等を手がけ、「町住区」を提唱した建築家・都市計画家。

